

第 2 回 総 合 教 育 会 議

平成 2 9 年 1 月 2 5 日 (水)

第 2 回 岬 町 総 合 教 育 会 議

日 時 平成29年1月25日(水) 午後2時30分開会—午後4時00分閉会

場 所 役場3階 第2委員会室

出席委員 松田教育委員、羽畑教育委員、奥野教育委員、宮川教育委員

欠席委員 中口教育委員

出席理事者 田代町長、笠間教育長、廣田教育次長、澤学校教育課長、松本校長、小山教頭、
森長指導課参事、保田指導課参事、西地方創生企画政策監、寺田地方創生企画政策
担当課長

案 件

- (1) 岬中学校でのチャレンジテストにおいて2年生の半数以上が欠席したことを受け
て
- (2) その他

配付資料

資料1 平成28年度チャレンジテストの経過について

資料2 岬町総合教育会議設置要綱

(午後 2時30分 開会)

澤学校教育課長 定刻より少し早いですけども、これより平成28年度第2回岬町総合教育会議を開会させていただきます。

本日の会議の進行を務めさせていただきます、私、岬町教育委員会学校教育課兼指導課長の澤でございます。よろしくお願いいたします。

なお、中口委員につきましては、本日、都合により欠席されるとの連絡を受けておりますので、報告させていただきます。

まず、初めにお配りさせていただきました資料の確認をさせていただきたいと思います。

まず、1枚目が会議次第でございます。

次に、資料1としまして、平成28年度チャレンジテストの経過についてでございます。

資料2としまして、岬町総合教育会議設置要綱でございます。

そのほかに追加資料としまして、岬中学校から教育委員会に提出されました経過報告書。それと、平成28年度中学生チャレンジテストのリーフレットでございます。

以上、不足等ございませんでしょうか。

そろっているようですので、お手元の会議次第に沿って進行させていただきたいと思っております。

本日は急な会議招集にもかかわらず、委員の皆様方におかれましてはお忙しい中、会議に出席していただき、まことにありがとうございます。

今回の会議は岬町総合教育会議設置要綱第2条及び第4条に基づき、緊急に開催するものでございます。

次に、第5条の規定に基づき、協議を行うに当たって必要があると認めるときは、関係者から当該協議すべき事項に関して意見を聞くことができる規定となっております。本日は岬中学校の松本校長、小山教頭に出席していただいております。

なお、発言につきましては、お名前を言ってからマイクのスイッチを入れていただき、それから発言をお願いしたいと思います。

それでは、以降の議事進行につきましては、議長の田代町長をお願いいたします。

それでは、田代町長、よろしくお願いいたします。

田代町長 岬町長の田代でございます。

本日は大変寒い中、また、お仕事の多忙の中で第2回総合教育会議に御出席を賜りまして、まことにありがとうございます。また、各委員の皆様方におかれましては、平素から

本町の教育の充実、発展のため、大変な御尽力を賜っておりますことを心から感謝を申し上げます。

本日は岬中学校でのチャレンジテストにおいて、2年生の生徒半数以上が欠席したことを受けて、緊急に総合教育会議を開催させていただきました。

今回のような事案は、あつてはならないことでもあります。生徒や保護者、町民の皆様方には、子どもたちの教育指導に対して御心配をおかけしているところであり、教育委員会とのさらなる連携の必要性を改めて痛感をいたしているところでもあります。

本件につきましては、既に報道等がなされておりますが、改めて、総合教育会議において、教育委員会から報告をいただきたいと考えております。まずは事務局に説明を求めたいと思います。よろしくお願いいたします。

森長指導課参事 失礼します。指導課森長です。

私のほうから平成28年度チャレンジテストについての経緯並びに事務局のほうで作成をいたしました報告書(案)につきまして説明させていただきます。

まず、平成28年度のチャレンジテストにつきましては、平成28年1月27日に教育委員会議におきまして、平成28年度のチャレンジテストの実施について議決をいただきました。同日、岬中学校長宛てに事務局より平成28年度チャレンジテストの実施についての通知を行った経緯がございます。

それでは、昨日生起しました欠席者多数の件につきまして、資料番号1をご覧ください。

これにつきましては、私から読み上げるという形になりますが報告をさせていただきます。まず1、市町村名、学校名、生徒数、岬町、岬中学校、399名。これはチャレンジテストを実施した当日付でございます。2、事案について、平成29年1月12日、木曜日、1、2年生、中学生チャレンジテストを実施しました。第1学年在籍生徒数119名、欠席生徒数45名。第2学年、在籍生徒数131名、欠席生徒数70名。3、原因分析、管理職・教職員の大阪府全体で実施しているチャレンジテストの制度、特に「受けるものである」という根本的なところの理解が不十分であったこと。管理職・教職員がそのような不十分な理解のまま説明をしたことにより、生徒・保護者がチャレンジテストに対して誤解を受ける結果となったこと。学校が生徒・保護者の中に「受けなくてもいいのでは・・・」という意識がSNS等を通じて広がっているということを普段の会話や電話相談において把握していながら対策を講じず放置していたこと。4、教育委員会としての総括と今後の改善策、町教育委員会として該当校に対してチャレンジテスト実施に向けた組

織としての対応策を講じるとともに、今後、同様な事案が発生しないよう、生徒・保護者に対し、チャレンジテストは「他のテストと同様に受けるものである」という意義を含めた、より丁寧でわかりやすい説明会等を実施するよう強く継続して指導・支援していく。必要に応じて町教育委員会が説明会に出席し、状況を把握する。該当校、管理職に対しては、チャレンジテストについて意義、実施要項等を十分理解させた上で、教職員との共通理解を行うよう強く指導・支援していく。また、今後、学校と生徒・保護者との信頼関係回復に向けた誠実な対応を全ての学校教育活動の中において進めるよう指導するとともに、生徒・保護者からの質問や相談にはQA集の作成をはじめとして、チャレンジテストを「受けるものである」という意義を含めた、学校としての統一した回答を行えるよう、あわせて強く指導していく。

当該校、教職員に対しては、管理職を通じ、チャレンジテストを「受けるものである」という意識を再三認識させ、「体調不良なら・・・」という誤った認識による説明ではなく、生徒・保護者に対して、当日、体調不良にならない指導等を行うとともに、チャレンジテストをより一層丁寧にわかりやすく説明する等、誠実に対応するよう強く指導していく。今後、町教育委員会は、事案発生当初には薄かった期間を強固に保ち、上の改善策を強力に進めていくことはもとより、当該校へのチャレンジテストに係る全ての通知文等の周知についても一層の注意を払うことで当該校が不備なく実施できるように努め、必要に応じて学校訪問を行うことで二度と再発させない所存である。

以上、読み上げになりましたが、報告させていただきます。以上です。

田代町長 ただいま、森長参事からチャレンジテストの経過説明及び資料1、2について説明をいただきました。ただいまの事務局から説明のあった大阪府教育庁への報告内容についての御意見、御質問ございませんか。

松田委員。

松田委員 校長先生にお尋ねしたいんですけども、今回のこの件について、どのようにお考えになられておられますか。

田代町長 どうぞ、お座りのままで結構です。

松本校長 中学校長、松本でございます。今回のチャレンジテストの件で多数の生徒が欠席するという混乱を招いてしまいました。私は岬中学校校長として皆様方に多大な御心配、御迷惑をおかけしたことをまづもって深くおわび申し上げます。申しわけございませんでした。

この間のいきさつは岬町教育委員会教育長様にも御報告申し上げます。私は校長とし

て子どもたちに受けるべき大切なテストであるという、その根本認識の不足と説明不足、そして教職員がそれをもってきちんと説明するということの不足がございました。必ず受けなければいけない大切なテストであるという、その根本認識の説明不足ということにつきまして、私の説明不足、認識不足、そして学校として皆様方に御迷惑をかけたことにつきまして、重ねておわび申し上げます。申しわけございませんでした。

田代町長 よろしいですか。他の委員さん御意見ございませんか。

はい、宮川委員さん。

宮川委員 今後、どのような対応をしていくというようなお考えがあるのか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

松本校長 松本でございます。

先ほど、事務局のほうからも御報告があったように、二度と再発はさせないという所存でございます。チャレンジテストにつきまして、大切なテストがこのような結果を招き不信感の払拭をしていかなければなりません。今回のテストにつきまして、受けた子どもも受けなかった子どもも、プラスになるように、今月中にこのテストをもう一度全ての子どもに取組させます。そして重要なポイントについて教師が授業中に説明して、全員が各自の学力の向上を図ります。また、チャレンジテストを活かした実力テストを2月に実施します。

以上です。

田代町長 ほかにございませんか。

羽畑委員さん、どうぞ。

羽畑委員 委員会の羽畑です。

今回のこのチャレンジテストについて、校長先生、保護者のほうはどういう態度でおりますか。

松本校長 保護者につきましては、プリントで御説明申し上げました。事前の保護者説明会等がございましたので、今後、チャレンジテストの実施につきまして意義や重要なポイントについて、来年度、保護者説明会を行いたいと考えております。今回、保護者説明会をしなかったことも原因の一つと考え、反省しております。

羽畑委員 保護者への徹底をしていただけたら子どもは休むことはないと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

田代町長 ほかに。

教育長 今の羽畑先生の補足なんですけども、保護者の方が今回のテストに対して何にもなかったのかということの御質問やったと思います。来年度に向けてのことはもう先ほども言っていたので、今回、何も学校へ反応がなかったのかということ私のほうからちょっとお聞きしたいと思います。よろしくをお願いします。

松本校長 保護者が、実は懇談会等で仕組みを教えてほしいとか、どうしたらいいかという質問がありました。それについて教員が対応しました。実施要項を元に対応を説明しましたが、不十分な理解のまま説明を繰り返したということがございました。

また、例えば明日休ませるという電話もございましたが、同じような説明でございました。私どもとしては当日休むという生徒もいるだろうと思いましたが、私どもの危機感が足りなかったというふうに反省しております。

田代町長 よろしいか。

教育長 はい。

田代町長 ほかに。羽畑委員。

羽畑委員 校長先生、今回の件はいい勉強になったと思って次年度に実施される部分には十分対応していただきたいと、そのように思いますが。

松本校長 はい。来年度、子どもたちに混乱が生じないように、また保護者の皆様にも信頼いただけるように取り組んでまいります。

組織として、対策を講じ、教職員にもっと徹底して、学力向上の1つの大切なテストであるということを普段の授業で行っていきたいと考えております。

田代町長

はい、どうぞ。宮川委員。

宮川委員 学校報告書についての資料をもう1枚いただいているんですけども、もうちょっと御説明願えますか。それで、これの資料に関して学校が今後どうしていくかということも教頭先生のほうから御説明願えますか。

小山教頭 岬中学校の教頭の小山でございます。今回は皆様に御迷惑、御心配をおかけしたことを教頭としても深くおわび申し上げます。この度の事案の経緯と今後の対策について、私からもご説明させていただきます。

廣田教育次長 この資料をごらんになって、参照しながら。

小山教頭 わかりました。では、添付資料にそってご説明させていただきます。

廣田教育次長 1月19日付の岬中学校から教育委員会教育長に宛てました資料のほうをごらんい

ただけますでしょうか。

小山教頭 まず、学校として、テストの意義や内容について生徒への説明会を実施しました。また、保護者懇談会等でもテストについての質問が出るであろうと考えられましたので、テストの意義や内容について同様の説明するという事も打ち合わせしました。しかし、そこで受けるものです。という説明がしっかりなされず、不十分であったということが今回の事態を招いたものと考えております。

また、テストが近づき、前日にも「休みたい」とか「休ませる」というような話もこちらに入ってきましたが、それについて子どもたちに明日は休んだらだめだ。受けるべきテストだというようなことを、あらためて保護者、生徒に伝え切れなかったということが、あわせて、これを防げなかった。こういう事態を招いた点であると反省する次第でございます。

この原因をふまえ、来年度に向けて、学校としての総括と今後の改善策についてですが、校長も申し上げた部分もございしますが、まず、あらためてチャレンジテストの実施の意義や内容について全職員が深い理解を行うための研修を今年度中に行わせていただきます。また、来年度の実施要項が届いた時点でもう一度受けるべきものだとすることを踏まえた研修を行わせていただきます。

次に、保護者への説明会も実施いたします。保護者より子どもが休みたいと言っているのですが、どうしたらいいでしょうかという質問がありました。学校が保護者に、受けるものとしてしっかり説明できていなかったため、保護者の方もお子さんに受けなさいと言いつけてもらうことが難しかった部分もあると考えておりますので、保護者の方にも、お子さんに、きっちり受けるものだというようなことを伝えていただきたいという話も含めた説明会を行いたいと考えております。

続いて、今回と同じように休みたいなという声や雰囲気を感じましたら、早急に、保護者、そして子供に受けるものだと、そして、自分の実力を図る大切なものだというようなことを再度、説明して対応したいと考えております。それでも、まだ休ませるというような保護者がおられる場合は、管理職として粘り強く対応していきます。さらに、職員の説明がぶれないために町教育委員会の御指導の中にもありましたが、QA集とといったものを作成し、それに基づいての説明、対応を職員に徹底させたいと考えております。

このチャレンジテストに自信を持って取り組むということがやはり子供にとって大事で

あり、校長の説明にもありましたが、学力向上もあわせて取り組んでいきたいと考えております。

以上でございます。

田代町長 宮川委員。

宮川委員 今後、何か対策としてお考えになってることございますか。今後、チャレンジテストに関して、どういうふう to 今度またやっていくかとか、もし考えがあるなら。

小山教頭 今、お話しさせていただいたとおりですが、まず今年度、あらためて教員にもう一度反省を促します。やはり休んでもいいというような感じに受けとられたことは、学校として信頼をなくすことにもなり、それは絶対だめだということを、そして、子ども、保護者に混乱を招いたことを反省すべきだということの理解を職員に徹底させた上で、今、お話しさせていただいたような対応を実施していきたいと考えております。

田代町長 羽畑委員、いいですか。

羽畑委員 今の件ですけど、それについてほかの職員たちはどんな態度をとっていますか。何というのですか、自分たちが受けなければならないことを受けさせなかったというような反省点とか、そんなものを持っているんですか、職員が。

小山教頭 このような、多数の欠席者数になり、まして報道もされたということで、職員は、すごく反省しております。また緊急の職員会議も行い、何が問題点であるかの認識の同一化を図りました。これが学校の信頼を損なうことにもなる、子供たちを混乱させる、そういうことの反省をもって、早急に今回受けなかったことでの子どもたちの学力に関わる不利益が起こることのないよう対応することを指示しました。そして全員がチャレンジテストの問題に取り取むという計画を立てさせました。また、今回の事案によって、チャレンジテストでの学力分析が、難しくなった点においては、チャレンジテストを活用した実力テストをもって子供たちの学力をしっかりと分析し、今後の学力向上に生かすということに取り組ませているところでございます。

松本校長 つけ加えてよろしいでしょうか。

田代町長 はい。

松本校長 当日、職員は休む生徒の多さに驚きとともに反省をもっていたと思います。

来年度は、同じようなことが起こってはならないというようなことを共通認識としてあります。やはり来年度はこういうことをさせてはいけません。半数も休むという事態を招くのは自分たちの教育のあり方について問われている部分があると考えております。管理職

として指導して、来年はこういう事態を招かないようにと考えております。

田代町長 よろしいですか。

奥野委員 済みません。奥野といいます。

欠席した生徒たちにその時間テストを受けなかったものをきちっとカバーしてもらえるように説明があるということを知ったんですけれども、実力テストだけでなく、重点的なところをもう一度きちんと教えてもらえるとかいう対策はとっておられるのでしょうか。

田代町長 松本校長。

松本校長 このチャレンジテストにつきましては、入試につながるテストであるという、とても大切なテストだということの教職員の認識がやはり不足していたと反省する次第です。チャレンジテストの重要性については、学力向上についての研修会等でも確認していたつもりでしたが、そこをもっと、しっかりと受けとめて子どもたちにテストに臨ませなければなりませんでした。そこで、今回の事案への対応として、チャレンジテストに改めて取組ませ、テストのポイントや入試につながる大切な部分の解説を授業で行います。チャレンジテストの目的とするものを授業で生かしていけるように、取り組みをさせていきたいと考えております。

田代町長 いいですか。

小山教頭 小山でございます。チャレンジテストの問題については当日受けた子ども受けなかった子どもも一旦は持って帰っているのですが、明日以降、問題を全員、持ってこさせ、丸々1時間使って全部の問題について取り組む、そして大事なポイントについて教師が解説を行います。受けなかった子どもにも問題が渡ってはいるのですが、そのまま軽く見てすませるだけというようなことがあります。それによって、入試に向けて、不利益になるようなことがあってはならないと考え、もう一度全員で各教科1時間ずつを使って、そのテストに取り組ませます。学校にもう一度、問題を持ってこさせ、忘れてくる子どもには学校からもある程度用意して、全員で取り組ませ解説も行う。それを、この26、27、30という3日間で全1、2年生の全教科で取り組むということになっております。

奥野委員 安心しました。

田代町長 よろしいですか。

宮川委員。

宮川委員 そういうふうにやっていただいてありがたいと思いますので、チャレンジテスト、実力テスト、テストに関して、もう少し今後慎重に取り扱っていただいて、校長先生、教頭先

生からのテストの大事さ、子供たちに言っていただいたらありがたいと思いますので、今後、教職員、そういうつもりで言ったのではないんやと思うんですけども、そういうことがないように、今後、引き締めてやっていただいたらありがたいと思うんですけど、よろしくお願ひいたします。

松本校長 二度と同様のことが起こらないように努めて参ります。

田代町長 羽畑委員。

羽畑委員 今の管理職の話聞いて、安心はしたんですけども、このチャレンジテストの件を何というんですか、今回、大きな反省の材料ということを考えて、一層の職員の努力と、その学力向上に対する真摯な取り組みというものを全職員で挙げて、何というんですか、実力を上げていくように1つ管理職のほうから全職員に発破かけていっていただきたいと。これはくれぐれもお願ひしたいと思います。そして、来年度のテストが非常に成績がよければ、ことしのこのチャレンジテストのミスについては十分取り返せると、こういうふうに思いますので、非常にもう全職員が物すごく心を1つにして、今後の、今日からの取り組みについて、教育について、実力を高めることについて、誠心誠意、これは教職員が一致したら物すごい力になると思いますので、その辺よろしく御指導をお願ひしたいと、くれぐれもよろしくお願ひしていきます。

田代町長 ほかに。

松本校長 いただいた意見につきましては職員会議で徹底します。ありがとうございます。

田代町長 ほかに御意見はございませんか。

なければ、私から二、三、お尋ねしたいと思っています。まず、今回の会議は、緊急性があるという判断のもとで開催させていただきました。これだけ新聞報道がなされ、ブログ等でも、岬町であることがわかる数字が出ています。この中で校長がコメントされてることが子供たちに大きな傷をつけてしまったと思っています。本町はレベルが低いと言いつつも、少しずつレベルアップしてきている。中学校の生徒の学力のレベルが上がってきている中で、今回のような事案が発生したことは岬町長として非常に残念だという気持ちが強いです。したがって本日の教育会議の中で、皆さんと本音で話をしたい。それで、皆さん方の本当の気持ちを聞きたい。その中で子供にやっぱりわびるところはしっかり町長としてわびていきたい。保護者の方にもわびていきたい。委員からは厳しい意見も出ておりますし、今後の課題についてもお話しされていますが、今、大事なことは、どうであったかという本当のことを私は保護者の皆さん方、町民の皆さんが知ることだと思ってい

ます。今回の事案について書かれたブログを見ますと、昨年の12月に校長がテストについて説明をしたとされています。1、2年生で250人のうち115人が欠席したと書かれており岬町のことであると思っています。その中で校長は、テストの点数が悪ければ、内申点は下がる、さらに当日もし体調が悪ければ先生がつけた内申書の評定そのままになると発言されたと書かれています。そのような中で昨年度からテストを実施され、試験結果は高校入試にかかわる内申点の補正にそれを活用されるというコメントも出ております。このようなことから子供たちや保護者がテストを受けていいのか悪いのかという判断に迷ったのではないかと思います。先生たちは、指導が足りなかった、もっとしっかりと理解をしておけばといいますが、先生方はしっかりと理解されていたと思います。もし成績が悪かった場合、内申点に影響することがわかるから、子供たちの自主性、保護者の自主性にお任せする、というのが私の推察です。ところが、校長や教頭は、管理職が徹底して、チャレンジテストの必要性を強く指導しておけばよかったとおっしゃいますが、成績が悪かったら内申書に影響するよということは、御存じだったと思います。この点が、問題だと思います。教育委員にもその点は理解をしていただきたい。

先日大阪府教育委員会と話した際に、先生個人の指導力の問題ではないかとの趣旨の話があったため、おかしいのではないかと申し上げた。その先生方を岬町に送りだしているのは大阪府ではないかと。実際、大阪府の学校の先生たちの連携がどのようになっているのかということが私は非常に残念だったんですよ。今回のチャレンジテストについてはしっかりと子供たちに受けないといけないよと、もし体調が悪かったらしょうがないけども、頑張って、チャレンジテストを受けてこいというぐらいの姿勢がなぜ学校になかったのかなと思います。私の孫は阪南市にいます。今、中学校1年生です。孫もチャレンジテストを受けてきました。阪南市ではどうであったか聞いたところ、先生からは、このテストは体調が悪くない限り、頑張って受けてこいと言われ、ほとんどの子どもたちが受けているようです。学校の先生の指導によってそれだけ変わるわけです。その辺りの話が出るのかと思いましたが、出なかったため、校長、教頭においては先生方への十分な指導をお願いしたい。また、教育委員には、もっと子供たちのことを考えていただきたい。岬町の子供もたちの体力向上の取組みを進めることによりレベルが上がってきている。そういった点も踏まえ、学校の教育環境の向上にも取り組んでいる。こう考えている矢先に、学校の先生がやっつてゐることは違うことをやっている。それだけ体力が向上してきているのにもかかわらず、片一方ではチャレンジテストを受けてない。来年もあるからという意見もありま

すけれども、私は今回が大事だったというふうに思います。今さら、校長や教頭先生方を責めるわけでもないが、もう少し、岬町の子供たちを預かる教師として、校長として、もっとしっかりと、いわば岬町の子はこれだけしっかりとやってるよという、アドバランを上げていただきたいというのは、私は先生方をお願いしたいと思います。非常に残念です。

松本校長 日ごろから子どもたちには下を向くなど、自信を持って生きていけという指導はしています。学力につきましても、指導が不十分なところがあって、今回テストを受けなかったということで、子どもたちにもすごくつらい思いをさせました。自信を持っているいろんなことに立ち向かえる子ども、特に学力面は、とても大事なことでございます。こういう結果を招いて本当に申しわけないと思っております。今、町長さまがおっしゃった言葉を胸にして、しっかり学校を上げて取り組んでまいります。申しわけございませんでした。

田代町長 それでは私の方からお願いがあります。この件は保護者の皆さんも御存じであろうと思いますが、やはり本当のことを保護者の皆さん、子供に伝えていくべきであらう考えております。それが次のステップへつながっていく。例えば、この会議の場で終わってしまったら、私は次の機会にも、その次の機会にも今回の問題がいつも引きずっていくんじゃないかなと、思っております。指導課参事の森長さんには、学校にはどんな指導をしてるのかと聞きました。学校への指導はきちりしていると回答をいただきました。ところが、先生がいろいろな心配をする面があって、テストを受けて、もし、成績が悪かったら、内申書へ影響すると思われた先生もあって、子供に自信を持って受験しなさいよと、そういうことが言えなかったかもわかりませんが、このテストは大阪統一のチャレンジテストであり、大阪府内の子供たちはしっかりと切磋琢磨させるべきだと私は思いますので、できたら機会があれば、保護者の皆さん、生徒にはもちろん学校訪問の中で説明をきちっとしていただいて、学校に問題があれば、保護者にそれを説明してあげてほしい。それが次のステップにつながると思いますので、その辺だけは何とかお願いしたいと思います。

松本校長 はい、わかりました。きょうは予定で、PTAの役員会、実行委員会がございまして、PTAさんの意見も聞きます。今の町長様のご意見を大切にしていきます。岬町教育委員会の御指導も仰ぎながら進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

田代町長 私が一方的に言ってしまうんですが、ほかにございせんか。

事務局のほうに申し上げます。

報告内容については、これでよろしいでしょうか。

それでは、今日の総合会議の結果を大阪府の課長に報告をするということで了解を得ております。それまで、顛末書なる報告書は出さないというふうにしておりますので、今日の内容で回答ができますか。

廣田教育次長 事務局、廣田です。

町長、最初におっしゃっていただきましたように、今日、提出させていただいております資料1番が事務局のほうから、大阪府教育委員会のほうに今回の事案につきまして、報告をさせていただきたい内容になっておりますので、こちらの内容で、皆様に御了承いただいたということで事務局として理解させていただいて報告させていただきたいと思えます。

田代町長 ありがとうございます。

会議の報告の内容に、もし、誤字、または文面の誤りがあった場合については、事務局のほうに一任していただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

田代町長 ありがとうございます。

では、一任ということで、事務局のほうでその辺の文書の作成については責任を持ってやっていただきたい。このように思います。

それでは、それ以外にせつかくの機会でございますので、御意見があれば承りたいと思えます。

ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

田代町長 ないようですので、本日は貴重な御意見を賜りました。特に将来を担う子供たちのために校長さん、教頭さん、そして教育委員の皆さん方、また事務局の皆さん方の御賛同を得た中での総合教育会議を、第2回の会議を開くことができましたことを本当に感謝申し上げます。

以上をもって、議事が終了いたしましたので閉会をさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

(午後 4時00分 閉会)